

# 3 集落活動センターの取り組み状況

- 集落活動センターの設置状況
- 集落活動センターの取り組み事例
- 集落活動センターの取り組みに対する支援策





# ＜集落活動センターの一覧表＞

NO.	市町村名	地区名	構成集落(集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称(拠点施設)	実施主体(事務局スタッフ)
①	本山町	汗見川	立野、坂本、屋所、沢ヶ内、瓜生野、七戸(6)	196	98	57.7	H24.6.17	集落活動センター「汗見川」 (汗見川ふれあいの郷 清流館)	汗見川活性化推進委員会 (高知ふるさと応援隊1名)
②	土佐町	石原	有間、峯石原、西石原、東石原(4)	378	188	48.1	H24.7.1	集落活動センターいしはらの里 (石原コミュニティセンター他)	いしはらの里協議会 (高知ふるさと応援隊2名)
③	仁淀川町	長者	木半夏、宮首、中ノ瀬上、中ノ瀬下、古田、石井野、打置、西古城山、東古城山、寺野、竹谷、宮ヶ坪、日鉄宮ヶ坪、五味谷(14)	660	288	35.8	H24.12.1	集落活動センターだんだんの里 (だんだんの里)	だんだんくらぶ
④	梶原町	松原	大向、中平、上久保谷、下久保谷、松原、島中(6)	292	153	63.0	H25.1.12	集落活動センター「まつばら」 (松原ふれあいセンター他)	集落活動センター「まつばら」推進委員会 (高知ふるさと応援隊2名)
⑤	梶原町	初瀬	上折渡、下折渡、影野地、大野地、佐渡、初瀬本村、仲久保(7)	142	71	48.6	H25.1.12	集落活動センター「はつせ」 (鷹取の家他)	集落活動センター「はつせ」推進委員会 (高知ふるさと応援隊2名)
⑥	黒潮町	北郷	大屋敷、本谷、大井川(3)	136	63	47.1	H25.3.5	集落活動センター北郷 (旧北郷小学校)	北郷地区協議会 (高知ふるさと応援隊1名)
⑦	安田町	中山	間下、内京坊、正弘、別所、中ノ川、西ノ川、与床、小川、中里、船倉、瀬切、日々入(12)	562	273	47.2	H25.4.1	集落活動センターなかやま (旧中山小学校他)	中山を元気にする会 (高知ふるさと応援隊2名)
⑧	香南市	西川	口西川、中西川(2)	417	179	47.5	H25.4.12	西川地区集落活動センター (西川公民館)	西川地区集落活動センター推進協議会 (高知ふるさと応援隊1名)
⑨	四万十市	大宮	大宮上、大宮中、大宮下(3)	289	135	49.5	H25.5.26	大宮集落活動センターみやの里 (榊大宮産業)	大宮地域振興協議会 (高知ふるさと応援隊4名)
⑩	佐川町	尾川	高平、下郷、西山耕、中村、山田、堂野々、松ノ木、古畑、峰(9)	888	410	43.2	H25.9.19	集落活動センターたいこ岩 (ふれあいの里尾川)	尾川地区活性化協議会 (高知ふるさと応援隊1名)
⑪	安芸市	東川	入河内、黒瀬、大井、古井、別役(5)	170	106	67.7	H25.9.29	東川集落活動センターかまん東川 (東川公民館)	東川地域おこし協議会 (高知ふるさと応援隊1名)
⑫	三原村	全域	下切、亀ノ川、広野、柚ノ木、宮ノ川、来栖野、皆尾、芳井、下長谷、上下長谷、上長谷、狼内、成山(13)	1,696	788	42.1	H26.3.28	三原村集落活動センター (三原村農業構造改善センター)	三原村集落活動センター推進協議会 (高知ふるさと応援隊2名)
⑬	梶原町	四万川	東向、富永、下組、東川、中の川、本も谷、茶や谷、井高、坪野田、文丸、神の山、坂本川、六丁(13)	583	278	49.9	H26.3.29	集落活動センター「四万川」 (四万川交流センター)	集落活動センター「四万川」推進委員会 (高知ふるさと応援隊2名)
⑭	南国市	稻生	立石、千田ノ木(間田)、土居ノ木、中谷、林谷、西谷、小久保、芦ヶ谷、北地、衣笠、丸山、井川、千屋崎(13)	1,714	756	36.3	H26.6.15	稲生地区集落活動センター (稲生ふれあい館)	集落活動センター「チーム稲生」 (高知ふるさと応援隊1名)
⑮	いの町	柳野	川原田、柳野本村、柳野上(3)	181	96	62.4	H26.11.23	集落活動センター柳野 (ふれあいの里柳野他)	明るい柳野を創る会 (高知ふるさと応援隊1名)

# ■ 集落活動センターの取り組み事例

## ● 集落活動センター「汗見川」(本山町)の概要

地域住民が主体となって、汗見川ふれあいの郷 清流館を拠点に、集落の連携による既存活動のブラッシュアップや新たな活動の実施をつうじて、次世代の人材を確保し、集落での活動をいつまでも続けられる魅力ある集落を目指す。【平成24年6月17日 第1号として開設】

- 目的**
- 集落の維持
  - 将来の担い手となる人材の確保、育成

### 3年後のイメージ

## 集落活動センター「汗見川」

集落活動の拠点

「汗見川ふれあいの郷 清流館」



連携する6集落(104世帯:216人)  
【立野・坂本・屋所・沢ヶ内・瓜生野・七戸】

- ★ 農産物等の生産、販売
  - ・薬草の栽培等
- ★ 鳥獣被害対策
  - ・シカ肉の活用
- ★ 生活支援サービス
  - ・買い物支援など高齢者を地域で支える仕組み
- ★ 安心・安全サポート
  - ・見守り活動など高齢者を地域で支える仕組み



### 運営主体・体制

- 【運営主体】  
汗見川活性化推進委員会
- 【運営体制】
- ・委員会の部会長、世話役
  - ・本山町ふるさと応援隊(高知ふるさと応援隊)
- ※役場、地域支援企画員が共同でサポート

仕組みづくりの推進役  
【本山町ふるさと応援隊】



### ★ 特産品づくり・販売



シソジュース

- ・充実、強化を図った活動の実施
  - ・新たな特産品づくり
- 山菜・シカ肉等の活用



### ★ 人口交流・体験



手打ちそば

- ・充実、強化を図った活動の実施
  - ・新たな交流イベントや体験メニューの実施
- 登山ツアー等

### ★ 防災活動



森のおきゃく

- ・地域防災体制の充実
- ・ヘリポートの活用



# ●大宮集落活動センター(四万十市)の概要

大宮地域住民が主体となって、集落及び団体同士の連携による新たな活動の実施を通じて、担い手を確保し、集落での活動がいつまでも続けられる魅力ある集落を目指す。  
【持続可能な集落づくり】



# ■集落活動センターの取り組みに対する支援策

## ◇資金面の支援

### 助成制度の創設

- **集落活動センター推進事業費補助金** (26年度予算額 300,000千円(対前年度比 145,000千円増))

#### 【補助内容】

- ① **集落活動センターの取組みに必要な経費**(ハード・ソフトとも)への支援
- ② センターの設置や運営に係る**活動従事者の人件費を含む活動経費**への支援

【補助事業者】 市町村 【補助率】 市町村事業費の1/2以内

【事業実施主体】 ①市町村及び集落組織、地域団体、NPO等 ②市町村

【補助上限額】 ① **30,000千円/1箇所(3年間)** ② **1,000千円/1人**

【補助期間】 ① **最長3年間** ② **最長4年間**(準備期間1年+活動期間3年)

## ◇人的な支援

### アドバイザーの派遣

- 集落活動センターの立ち上げや運営等について、総合的に助言を行う県のアドバイザー等を地域に派遣  
(集落活動センター推進アドバイザー: **中山間対策にかかる専門家等6名**を委嘱)

### 研修会等の開催

- 予定地区の住民や市町村職員、高知ふるさと応援隊等を対象にした勉強会、研修会や交流会等の開催

### 支援チームの編成

- **市町村ごとの支援チームを編成**して、全庁を挙げた支援を展開  
・構成メンバー: 中山間地域対策課、活動に関連する課室、地域支援企画員(総括)・地域支援企画員、関係出先機関等

### 関連情報の提供

- 集落活動センターの普及、拡大に向けた総合的な情報の提供 【**「集落活動センター支援ハンドブック」**の作成】  
・内容: 集落活動センターの概要、取組みに対する支援策、自立に向けた成功イメージ、センターの取り組み事例

# 4 集落活動センターの今後の展開

- 今後の集落活動センターへの支援の考え方
- 集落活動センターに取り組むうえでの課題
- なぜ、10年間で取り組むのか



# ■ 今後の集落活動センターへの支援の考え方

## 集落活動センター



## 中山間地域の課題解決の拠点

・福祉活動、暮らしを守る取り組み、防災等の「地域の支え合いの仕組みづくり」の確立

・産業づくり、観光交流、移住、アドバイザー資源活用等による「地域の活性化」の推進 **県としても、立ち上げ3年後も継続して支援！！**

- ・地域支援企画員など、「支援チーム」によるアドバイス、情報提供など
- ・県や国等の支援制度の活用に向けた支援(補助金、アドバイザー制度などの紹介)
- ・集落活動センターの取り組みの全国発信、PRなど
- ・集落活動センターに取り組む地域のネットワークづくり

### 県の施策を重点投資

・あったかふれあいセンター（小規模多機能施設）、ヘリポート、新エネルギー、移住促進、交流・観光、特産品づくり、情報等の

### 県のビジョン等と連携

・「産業振興計画」、「日本一の健康長寿県構想」などの県の基本計画や、南海トラフ巨大地震対策等の重点プロジェクト等との

- ・目安
- ・規模感

どの支援事業や施策の重点的が集落活動センターの立ち上げを目指す

## ■ 集落活動センターに取り組むうえでの課題

### 課題と対応策

- 集落活動センターの取り組みの意義や必要性について地域や住民の皆さんへのきめ細やかな周知や情報提供を行うこと。
  - ⇒ 様々なモデル事例の確立、情報提供、PRの強化
- 立ち上げを目指して準備を行っている地域が、集落活動センターを迅速、かつ円滑に立ち上げること。
  - ⇒ 立ち上げに向けたノウハウの確立、マニュアルづくり
- 将来にわたり、集落活動センターの活動が継続できる仕組みを構築すること。【人材、資金の確保】
  - ⇒ 国、県、市町村、地域の連携体制や役割の確立

# ■なぜ10年間で取り組みを進めるのか!!

## ○中山間対策は「待ったなし」の喫緊の課題

この10年間で正念場・・・10年先では、手遅れとなってしまう

う

### 10年後を見据えた仕組みづくりが不可欠

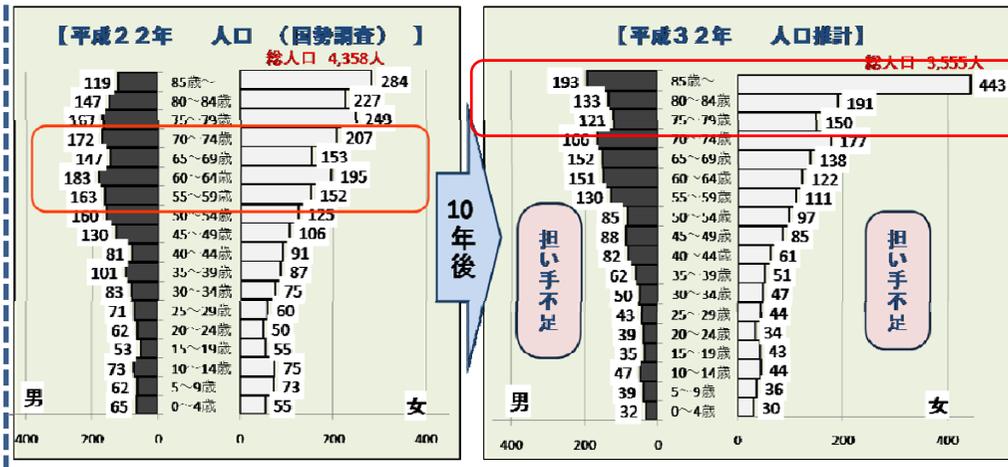
◆人口減少、高齢化の進行の一層加速化で、集落が衰退、消滅の恐れ

◆地域づくりの中心的な役割を担っている

団塊の世代等が高齢化



■中山間地域 ○町の10年後の姿



高齢化  
人口減少

課題先進県

### 中山間地域対策の抜本強化

高知県の元気づくり、地域の活性化に向けた課題解決先進県を目指す！！

全国に先駆け、具体的な事例や解決策(処方箋)を作り上げる

### 課題解決先進県としてモデルを確立



全国へ情報発信



国等への政策提案